

参加コース	満足度(10段階)	良かったカリキュラム3つとその理由	全体を通しての感想
労働基準監督官コース	10	<p>災害調査ロールプレイング 労働相談ロールプレイング 供述調書作成</p> <p>どれも実践的な内容で、主体的に行動できたのがとても良かったと思いました。</p>	<p>実際の仕事に近い体験ができたことがとても良かったと思いました。聞くだけではなく主体的に行動できて、根拠を元に話すやり方を学ぶことができました。</p>
労働基準監督官コース	9	<p>○労働相談の受付・監督指導・司法事件処理(4日目) 労働基準監督官がどのような流れで1つの事案に向き合っていくのかを具体的なイメージをつかむことのできたカリキュラムでした。相談者の話と事業者の話を根底にあるものを考えながら要点を絞って、聞くことの大切さに気付くことができました。それぞれのピースが集まって、パズルが完成していくような感覚を得ることができ、監督官の仕事の面白さの1つだと感じました。また、1日目から3日目に実施されたロールプレイングでの学びを4日目のこのカリキュラムで実践できたため、4日目に実施されたことがよかったと感じました。</p> <p>○災害調査ロールプレイング(3日目) 監督官が災害現場にでたときに、どこに注目してどんなことを調査してどのような流れで進めていくのかを理解することができました。現場で見てきたものを基に調査をして行くため、災害調査がどれほど大切なのか気付くことができました。グループを分けて調査を行ったことで、実際のように役割を分けて調査に取り組めたことがよかったです。</p> <p>○令状請求と逮捕(5日目) 逮捕を必要とする理由を考える際に、物事の背景にしっかり目を向けて今後、起こり得る可能性を考えることが非常に難しかったです。背景に目を向けることの大切さに気付かされました。実際に使用する手錠を使用させていただいたことで、監督官が逮捕権をもっていることも実感することができました。さらに、4日目からの事案を継続した内容であったため、つながりを理解しながら取り組むことができました。</p>	<p>インターンシップという、ここまで実際の業務を体験できることは限られているかと思います。毎日のカリキュラムが充実しており、5日間という短い期間の中で監督官のメインといえる業務のカリキュラムが段階を追って構成されていたため、法律等の知識が何もない私にとっても取り組みやすいものでした。それぞれのカリキュラムでは、サポートしすぎないことが重視されており私たちがとにかくやってみようという環境で、モデルに縛られることなく、自分の力で考えることが大切にされていました。さらに、職場環境という点でみなさんの様子を見ていて、上司と部下という関係性の中で強い信頼関係が築かれていると感じました。働きやすい環境が周囲の人間関係からも形成されると考えておりますので、制度以外の面でも働きやすい環境が整っていると感じました。さらに、職員の方々に質問をすると親身になってお話を聞いてくださったので、働くということに対する疑問や公務員試験への疑問を解消することができました。5日間という短い期間ではありましたが、公務員として働くこと、労働基準監督官として働くことに対する具体的なイメージを持つことができた貴重な時間でした。5日間お世話になりました。</p>

参加コース	満足度(10段階)	良かったカリキュラム3つとその理由	全体を通しての感想
厚生労働事務官コース	9	<p>・職業安定部 事例から学ぶ職業相談(事例DVD, グループワーク) 相談者が本音を話しやすく、相談しやすい雰囲気を作るために、相手と目を合わせる事、聞き取りやすい声量や話すスピード、要約や言い換えといった会話技術など、さまざまな工夫を凝らしながら相手の話に耳を傾ける相談業務が行われていることを知り、相談者にとってより良い職業選択を促すことの難しさと意義深さを感じました。接客業とはまた異なる、相手との関わり方がとても興味深く、今後の人生でぜひ身につけ、実践してみたいと思いました。</p> <p>・職業安定部 ハローワーク甲府(職業相談体験) 上述のDVD事例学習で学んだ傾聴の姿勢や会話の技術を、現場の相談員の方々によるデモンストレーションを通して実際に体験できたことで、相談者が感じる話しやすさや安心感を実感することができました。 自分も将来、相談員として求められる傾聴の技術を身につけ、相談者が快く相談できる環境を提供できるようになりたいと感じました。</p> <p>・労働基準部 過労死等事案聴取 過労死等の事案が発生した経緯について、被災者側と事業者側それぞれの視点から掘り下げるために、どのような質問が適切で必要なのかを考えることは、難しさがある一方で、大きなやりがいも感じました。4人1組のグループで取り組んだことで、それぞれが持つ多様な観点から質問が出され、多角的な考えを共有できたと思います。</p>	<p>5日間という短い期間ではありましたが、非常に濃密で有意義な今回のインターンシップを通じて、「労働行政に関する理解を深める」という目標を達成できました。</p> <p>特に、職業安定部と労働基準部が、それぞれどのような特徴を持ち、どのように業務が異なるのかに注目しました。各部署の業務説明や体験、職員の方々との交流を通じて、それぞれの部署におけるやりがいや面白さを感じ取ることができました。</p> <p>また、インターンシップ全体を通して、社会に出るうえで求められる姿勢や、私自身が改善すべき多くの課題にも気づくことができました。労働局について理解を深めるとともに、自分自身を見つめ直し気付きを得ることができた貴重な機会となったと感じています。</p>

参加コース	満足度(10段階)	良かったカリキュラム3つとその理由	全体を通しての感想
労働基準監督官コース	10	<p>良かったカリキュラムは、監督官業務のロールプレイングと公務員試験に関する対策情報、そして実際に働いていらっしゃる監督官たちから魅力や、やりがいなどを直接聞いたことです。監督官業務のロールプレイングでは、もし自分が監督官という仕事に就けたら、どのような仕事を行っていくのか、また自分には適性があるのか、判断することが出来ました。このカリキュラムは、将来の進路を決めていくうえで、とても重要な経験となったため、一番良かったカリキュラムであると思います。また、公務員試験に関する対策情報を教えていただいたことも良かったカリキュラムの1つだと思います。特に、実際に監督官試験に合格された人からの情報は、自らが試験勉強の計画を立てていくうえでとても参考になるからです。面接試験においても、試験で出題されやすい傾向や過去問を教えていただくことで、事前に心構えができて、面接試験対策が行いやすくなりました。そして、実際に働いていらっしゃる監督官たちから魅力や、やりがいなどを直接聞いたことに関しては、他の職業と比較をする際に、自分の興味と一生続けていける仕事なのか判断することに役立つため、良かったカリキュラムであると思います。</p>	<p>このインターンシップに参加する以前は、インターネットでの情報により、労働に関する仕事という大まかな概要しか業務内容がわかりませんでした。この研修を通して、人々の人生に関わるという高い使命、専門性をもった仕事であることがわかりました。特に、最低労働条件を守ることが、労働者を守るだけでなく、離職率の低下につながる。さらに、生産性が高くなるため、雇用主にも利益となり、社会が上手に回ることにつながるということが印象的でした。</p>
労働基準監督官コース	10	<ul style="list-style-type: none"> ・建設現場パトロール ハーネス等の装着や建設現場への訪問は初めての体験でした。建設現場の安全衛生について学び、更にパトロールの大事さを感じました。 ・司法事件処理 ・災害調査ロールプレイング <p>この2つのカリキュラムについては監督官としての業務内容だけでなく、コミュニケーション力やタイピング力といったスキルが業務を行う上で必要であると知りました。</p>	<p>労働基準監督官として、監督指導や安全衛生、司法業務を行っていると感じました。また、労働という分野から地域住民、国民に対してどのようなことを行っているのか等、インターシップを通して理解することができ、貴重な体験となりました。5日間のインターシップ、ありがとうございました。</p>

参加コース	満足度(10段階)	良かったカリキュラム3つとその理由	全体を通しての感想
厚生労働事務官コース	10	<p>①ハローワーク甲府での相談体験 相談される側ではなく相談する側として傾聴されない場合とされる場合を体験したことで、傾聴の重要性をより強く実感できました。日常のコミュニケーションにも活かしていくことができると思います。</p> <p>②5号請求書、8号請求書の審査業務 窓口業務以外について、インターンシップに参加する前は具体的なイメージを持ちづらかったのが、実際に体験できて良かったです。説明を聞いている時にはできそうだと感じましたが、やってみると不備を見落としたり平均賃金の計算を間違えたりしてしまって業務の難しさを感じました。</p> <p>③報告徴収ロールプレイ 聞き取りを行う前に話し合いの時間があつたので、頭の中を整理した状態でロールプレイに臨むことができました。途中、止まってしまうこともありましたが、講義と話し合いの内容を踏まえながら話げできたと思います。</p>	<p>私は、労働局の業務内容や自分の将来についてより具体的にイメージすることを目的として、今回のインターンシップに参加させていただきました。</p> <p>5日間のインターンシップは講義だけでなくロールプレイも多かったのが、曖昧だった労働局の業務のイメージが、より具体的になりました。特に基準系と安定系の違いについて、インターンシップに参加する前は簡単にしか分かっていませんでした。しかし今では業務内容の違いやそれぞれの良さを知ることができました。それを踏まえて、自分が労働局で働くとしたら基準系と安定系どちらの事務官になりたいのか、どのような業務が自分のやりがいに繋がるのか、考えることができました。これによって自分の将来についてのイメージもより具体的に感じたと思います。</p> <p>以上のことから私は、5日間を通して自分の目的を達成することができたと考えます。</p> <p>また、積極性や表情といった自分の課題に改めて気付くこともできたので、今後の学生生活を通して改善していこうと思います。</p>
厚生労働事務官コース	10	<p>①座談会 職員の方の生の声を聞くことができたことで、職場の雰囲気や良いところ、大変なところを知ることができ、労働局で働くことへの具体的なイメージを掴むことができたから。</p> <p>②ハローワークや障害者職業センターなどの現場見学 普段訪れることのない場所だったため貴重な経験となったから。また、職場の雰囲気を知ることができ、様々なところと連携しているということも実感することができたから。</p> <p>③聴取 普段自分自身が質問する側の立場になることがあまりなく、聞き出すということを行ったことが無かったためとても貴重な体験だったと感じたから。また、実際に行くことで難しさや面白さを感じる事ができ、実際の業務への理解を深められたから。</p>	<p>ロールプレイや実際に業務をするカリキュラムや、見学が多く、実際の業務への理解を深められ、とても貴重な経験になったと感じた。また、座談会や隙間時間などで職員の方と話す機会が多く、多くのことを聞くことができ、労働局で働くことについて具体的にイメージできるようになった。そして、職員のかたのサポートが手厚く、とても安心して5日間のインターンシップを終えることができた。インターンシップ期間中は自然と自分について見つめ直すことが増え、自分の短所に改めて気づくことができ、自分の成長に繋がったと思う。</p>

参加コース	満足度(10段階)	良かったカリキュラム3つとその理由	全体を通しての感想
厚生労働事務官コース	10	<p>鯉沢署 障害認定業務 障害認定業務を実際に体験し、等級が非常に細かく分かれている点に驚きました。等級に応じて支給される金額も異なるため、非常に責任の重い仕事だと実感できました。また慎重さと正しい知識が求められる、やりがいのある仕事だと感じました。</p> <p>事例から学ぶ職業相談 ハローワークでの職業相談において、利用者に対してどのように対応すれば良いのかについて学びました。座学の講義だけでなく、良い例と悪い例のDVDを視聴することで、ポイントを押さえやすかったです。視聴後にディスカッションをし、良かった点や悪かった点を出し合うことで、自分では気づけなかった点も発見できました。</p> <p>障害者職業センター見学 私には馴染みのない施設だったので、この機会に見学に行くことができ良かったです。この施設では新たな発見ばかりで、感動しました。特に、障害者の得意や不得意を見極める作業を実施し、個人それぞれにあった職業を探していく点に魅力を感じました。障害者の方にこれほどまでに寄り添っておられる点が、素晴らしいと思いました。一人一人に向き合い、その人の役に立てるような人間になりたいと、改めて思いました。</p>	<p>山梨労働局は、初めはどのような雰囲気職場か分かりませんでしたでしたが、このインターンシップを通して、非常に明るい職場だと分かりました。親身になって業務を教えて頂いたり、今後についてアドバイスを下さったりと、温かさを感じました。</p> <p>また今回は、様々な業務内容を体験させて頂きました。どの業務も誠実に取り組むことが、何より大切であると感じました。労働局の業務は人の人生を左右する、重要な内容であるので、一人一人に誠実に向き合っていく必要性を実感しました。私も仕事に対して誠実に向き合い、一つのことを究めていきたいと感じました。</p>
労働基準監督官コース	8	<p>司法業務 道筋が通っていてイメージがつきやすかった</p> <p>新人監督官方との交流会 気になる事を沢山質問できた、働くときのイメージが明白になった</p> <p>安全衛生業務 実際に現場に入る、なかなかできない体験をすることができて印象深かった</p>	<p>インターンシップ全体を通して、山梨労働局はとても雰囲気が良く、とても和やかな印象を受けました。県単位の採用という事で、他の労働局がどのような雰囲気なのか、説明会など積極的に参加したいと思いました。希望する局で採用してもらえようような、面接練習なども真剣に取り組みたいと思いました。</p>

参加コース	満足度(10段階)	良かったカリキュラム3つとその理由	全体を通しての感想
労働基準監督官コース	10	<p>監督指導＋紛争解決援助(ロールプレイング): 聞くべきこと、必要な視点等の説明をしていただけたから。</p> <p>建設現場パトロール: 施工中の現場で安全衛生に関してどんな対策が行われているかを見ることができたから。</p> <p>若手監察官との座談会: 試験の勉強方法などを聞くことができたから。</p>	<p>具体的な業務内容を知ることができただけでなく、(私が自身の自己目標に関することと照らし合わせてながら捉えていたということもあり) 監督官にはどんな能力が求められるのかということも理解できたので、とても有意義だったと感じています。</p>
労働基準監督官コース	9	<p>建設現場見学、模擬相談対応、災害現場ロールプレイ</p> <p>理由…言葉だけで説明されてもいまいちピンとこなかった監督官の実際の業務内容のリアルがしれたから。これらのカリキュラムは特に監督官の仕事のイメージをするのに役立った。</p>	<p>監督官はまだ社会人ではない私たち学生には特にイメージのしづらい職業でした。そのため事前知識もあまりないままインターンに参加しましたが、5日間という決して短くはない時間できちんといろいろな業務の体験をさせていただき、現職の方の話も聞いて、今までぼんやりしていた監督官のイメージがはっきりしました。実りある実習だったし、参加したことで将来の進路も決まりました。ありがとうございました。</p>
労働基準監督官コース	7	<p>若手監督官との座談会や鯉沢労働基準監督署では監督官の方々のお話が聞いて、就職までの経験や仕事に就いてから感じたことなどを知れたことが非常に参考になりました。</p> <p>労働相談や監督指導のロールプレイングでは、実際の仕事で多い内容を体験できたり、話を聞く中で内容を分類することが、感情に流されず物事を論理的に考えるために必要だと学べたりして良かったと感じました。</p>	<p>インターンシップを通して、労働基準監督官の仕事について知りたいという参加した動機が達成できたので良かったです。インターンシップの5日間で多くのロールプレイングを通して、実際の仕事の内容に近いことが経験できたので貴重な体験だったと思います。仕事の内容を知るだけでなく、今後の自分に活かすべきことが見つかったのでより参加して良かったと感じました。</p>